

第 1 号 議 案

令和 6 年度事業報告

令和 6 年 3 月 1 6 日に北陸新幹線が福井・敦賀までの開業を迎えました。

開業後の効果として、福井県への訪問者数は、関西圏で 1 2 2 %、関東圏で 1 4 2 %、信越地方で 1 7 5 %といずれも増加傾向であるとのデータが示されています。

今後においても交流・関係人口の増加なども見据えつつ、観光振興にも積極的に取り組んでいく必要もあります。

道路においては、一昨年 1 0 月には中部縦貫自動車道の勝原 IC～九頭竜 IC 間が開通し、油坂峠までの全線開通が令和 8 年春と公表されていましたが、未開通区間で複数の工事課題が判明したことから、開通時期が白紙となりました。

本年 3 月に工法等の見直しを行い、新たな開通時期は当初より 3 年遅れの令和 1 1 年春と公表されたが、工事区間の主要国道の土砂崩れの影響も懸念されるところです。

経済面、誘客面での効果が大きい道路であり一日でも早い全線開通が望まれます。

令和 6 年度の国内新車販売台数は前年比 1. 6 %増の約 4 5 7 万台となり、若干増加しました。

普通車は、1. 6 %増の約 2 9 4 万 8 千台、軽自動車は、ほぼ前年並みの約 1 6 2 万 8 千台となり、認証不正問題での影響があったものの新型車がけん引した形となりました。

福井県下の新車販売台数は、普通車が 2 2, 3 7 3 台で前年比 3. 4 %増、軽自動車は 1 4, 6 6 7 台で前年比 0. 7 %減となりました。

令和 6 年の福井県内の交通事故死者数は、前年から 3 人増の 2 3 人と非常に残念な結果となり、依然として高齢者が死亡事故に関わる割合も高いため、引き続き事故防止対策に努めていく必要があります。

当自動車会議所においては、自動車関係業界の発展に少しでも寄与できるよう以下の主な事業に積極的に取り組んでまいりました。

記

1. 関係行政機関・会員団体等との連絡協調

日本自動車会議所の通常総会・全国専務理事会、全国自動車検査登録印紙売捌人協議会の通常総会、福井県経済団体連合会の事務局責任者会議、福井県道路協会の理事会・通常総会・新時代へ挑む福井の道づくり大会、福井県高速道路交通安全協議会の理事会・通常総会・広報啓発活動、北陸新幹線建設促進期成同盟会総会、福井県交通安全協会、福井県バス協会、福井県トラック協会などが主催する各種会議等に積極的参加し、また連絡を密にしてそれぞれの機関・団体等からの情報を自動車関係団体等への周知にも務めました。

2. 自動車検査登録印紙など各種印紙の売捌き事業

自動車検査登録印紙・自動車審査証紙・自動車重量税印紙・県収入証紙・自動車税証紙等の売捌においては、少なくなりつつあるとはいえ、約36億5千万円の非常に多額の印紙を扱っていることから、事故やトラブルのないよう、また利用者サービスの向上に努めて業務を遂行してまいりました。

令和6年度の主な印紙4種の手数料収入は、約2,800万円で前年度比97.5%、約72万円の減となりました。

特に自動車重量税の落ち込みが非常に厳しく約128万円の減となり、OSS申請利用の増加等の影響によるものと考えています。

普通車OSS申請の利用率は、新規登録が64.8%、継続検査が74.1%、軽自動車OSS申請の利用率は、新規登録が59.8%、継続検査が70.4%と年々着実に増えてきており、売捌事業は今後さらに厳しくなっていくものと想定しております。

しかし、厳しさを増す環境のなかでも、自動車の登録・検査等に係わる方々の利便性を向上させていくために何ができるかを常に考えて努力してまいります。

3. 自動車税申告審査等業務

福井県から業務委託を受けております自動車税申告書審査業務については、情報管理の徹底など行政業務の基本である適正かつ公正な執行や、納税者の立場にたって良質なサービスの提供を重点に掲げて申告書の審査及び相談業務を行っております。

また、福井県税事務所分室業務を全面的に受託しており、これに対応するため人員含めた体制強化、窓口サービスの向上も図っているところです。

今後においても、福井運輸支局、福井県とも連携しながら体制整備の充実を図り、窓口サービスに混乱のないように取り組んでまいります。

4. 交通事故防止等広報活動の推進

車社会の急速な進展と、これに伴う経済及び地域社会の変化に対応するため、自動車に関する諸情勢の早期把握に努める一方、会員団体及び関係先との緊密な連携を保持し、各種情報の収集及び伝達に努めました。

福井県交通対策協議会幹事会等、各種会議に積極的に参加し、11月に開催された福井県交通安全県民大会にも出席しました。

高齢者が関係する事故も増えてきている現状も踏まえ、事故防止のため関係機関等と引き続き連携を強化してまいります。

5. 自動車会館の管理運営

永年の懸案であった福井県自動車会館の耐震改修等工事については、前年度に改修を終えたところであり、耐震補強により今後数十年は安全で安心・快適な環境の下で業務が遂行出来ることになりました。

予算等の関連から空調設備更新など一部積み残しもあるため、会館入居団体の皆様と引き続き協議しながら進めていきたいと考えています。

6. 専門部会等の開催

福井運輸支局をはじめ関係行政機関や、各団体相互の情報交換・連絡調整等を図るため、毎月専務会議を開催しました。

また、中部運輸局幹部職員の人事異動時は、懇談会も随時開催したところです。

なお、道路に関しては「道路管理者（国・県）と自動車業界との懇談会」を昨年に引き続き3月に開催し、自動車業界から福井県内の道路整備等に関する要望書を国・県へ提出しました。業界紙の取材もあり、日刊自動車新聞、建設工業新聞に取り上げられ記事掲載されました。



（左：福井県土木部長 田中克直、中：会長 浮田啓三、
右：福井河川国道事務所長 野村文彦）

7. 自動車関係功労者福井県知事表彰

福井県はいわゆるクルマ社会であり、通勤・レジャー・企業活動など何をするにおいても県民にとっては自動車が貴重な移動手段であり必需品であります。

また、県民の生活の維持、企業の経済活動の推進、観光需要の喚起などにも自動車業界は大きく貢献しており、またなくてはならない存在でもあり、令和4年3月に「福井県自動車関係功労者知事表彰」を創設して頂いたところです。

昨年6月の当自動車会議所通常総会の席上において、第3回表彰式が行われ、表彰の栄誉を受けたのは、下記6名の皆様であります。(敬称略)

(一社) 福井県自動車整備振興会副会長 角谷彰彦、(一社) 福井県トラック協会副会長 有馬茂人、(一社) 福井県自家用自動車協会副会長 山本治和、福井県中古自動車販売協会理事 野阪律行、(公社) 福井県バス協会理事 長谷川敦俊、福井県自動車車体整備業協同組合理事 津田清二



令和6年度 福井県自動車関係功労者知事表彰式 令和6年6月10日 於 ザ・グランシアーズフクイ